

20琴総発 第166号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

香川県琴平町長 山下 正 臣



「今後の道路行政についての意見・提案」の提出について

標記の件につき、別紙様式にて提出いたします。

よろしくお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 地域と自立と活力の強化

①現在、地方においては、少子高齢化や人口の減少に伴い深刻な状況下にある。地方が自立し活気づくような、道路施策や整備・管理をお願いしたい。

特に、地方の観光拠点へのアクセス道路の整備や案内標識及び景観整備など、地方の自立と活力強化につながるような施策をお願いしたい。なお、瀬戸大橋を含む高速道路料金の見直しについて、強く要望する。

2. 安心・安全の確保

①大規模地震、集中豪雨など災害のおそれのある危険箇所の整備をお願いしたい。

具体的には、香川河川国道事務所・中讃土木・中讃土地改良・まんのう町・琴平町で、調査・研究を行っています。台風・大雨時における国道32号線バイパスの排水対策について、今後の調査研究及び対応を早急をお願いしたい。

②交通安全の向上(交通安全対策)のための道路整備・管理をお願いしたい。

地方においては、まだまだ歩道と車道の共存道路が多く、歩道の整備・交差点改良など、特に交通弱者(高齢者・子ども・障害者)に対して安全で安心な道路整備・管理をお願いしたい。

③安全・安心で計画的な道路管理のための財源確保をお願いしたい。

道路の日常管理や橋梁等の修繕・更新について、国道部分については、耐震補強も含めて、少なからず実施されているように思われる。しかし、地方道の管理、特に橋梁については、手付かずの状態であり、国などの財政措置が必要である。

国道だけでなく、地方道の日常的な維持管理や橋梁等の修繕・更新ができるような財源確保をお願いしたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

本町は古くから金刀比羅宮の門前町として形成され、丸亀街道・多度津街道・高松街道・阿波街道・伊予土佐街道の五街道の終着点として栄えてきた。現在でも町内の生活道路は道幅が狭く、歩道と車道が共存する道路が多く、道路の拡幅や歩道の設置、バリアフリーなどの道路整備が遅れている。

また文化的建造物が住宅地や商業地を含めた町中に点々と存在し、景観整備が非常に困難な状況である。

町内へのアクセス道路の案内表示は日本語と英語のみで、近年の観光客の多国籍化に対応できていないのが現状である。

○課題

観光立町である本町にとって、いかに観光振興を図っていくかが重要な課題である。

そのためには都市部や高速道路インター・空港等よりのアクセス道路の整備や交通渋滞をきたす交差点改良、案内表示の充実等が不可欠である。また観光地としての風情ある景観整備等、課題は山積している。

しかし、現在の本町の財政状況では早急な対応は困難であり、国や県等による補助事業の拡充に期待したい。

②-2 地域の目指すべき将来像

四国を代表する観光地「ことひら」の目指すべき将来像

- ・ 全国から訪れる観光客が、分かりやすく安心して本町に来て頂けるよう、また「こんぴらに来てよかった」「讃岐に来てよかった」「もう一度来てみたい」と思っただけのような観光地を目指したい。
- ・ 誰もが安全で安心して暮らせる町、地元住民が誇りをもって全国に向かってA級(永久)の観光地として紹介できる町を目指したい。

まちづくりの目標

- ・ 住民にとって快適で魅力のある生活環境を整え、本町を訪れる方々に対しては、「やすらぎとあたたかさ」を与えるような風格のある町を築くことを目標とする。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

香川県琴平町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
観光地としての道路整備	・高速道路IC・空港等よりのアクセス道路の整備 ・観光シーズンにおける交通渋滞の解消(交差点改良等) ・道路案内・観光案内標識の整備(外国語表示の充実) ・瀬戸大橋を含む高速料金の見直し ・道路の拡幅、歩道の設置、バリアフリー化等の整備 ・歴史的な街道筋を含めた風情のある景観整備	観光立町として、左記整備をすることにより、観光地としてのイメージアップにつながり、観光客の増が見込める。 「こんぴらさん」は四国を代表する観光地であり、本町の観光振興が地域経済を元気にし、活性化を促す。	